

令和8年7月3日

報道関係者、地域広報関係者 各位

奈良文化財研究所

### 飛鳥資料館特別陳列室リニューアルオープンについて

飛鳥資料館では、以下のとおり、第1展示室 特別陳列室をリニューアルオープンし、国宝「奈良県飛鳥池遺跡出土品」※の常設展示を始めます。周知のご協力をお願いいたします。

内覧会：7月3日（金）10時より（プレス向け）

展示公開：7月4日（土）9時より

#### 【概要】

飛鳥池遺跡を紹介する第1展示室 特別陳列室は、室内改装ならびに展示替えのため令和6年10月より閉室しておりましたが、作業を完了しましたので、7月4日（土）、リニューアルオープンいたします。

主要な展示品は「奈良県飛鳥池遺跡出土品」です。「奈良県飛鳥池遺跡出土品」（令和7年9月26日重要文化財指定）は、東アジアにおける生産技術史や国家形成における社会を考究する上でも唯一無二の資料であり、その学術的価値は極めて高く評価されることとなりました。

飛鳥池遺跡は7世紀後半の工房群跡で、平成3年に奈文研・明日香村教育委員会が発掘調査で確認し、奈文研による平成9～11年の発掘調査で全容が判明しました。平成13年には「飛鳥池工房遺跡」として国指定史跡になっています。

出土品のなかでも特筆すべきは、富本銭とその製作工程を示す一連の資料群で、鋳型や鋳棹、未製品の富本銭や各種の工具は、富本銭の鋳造の具体像をよく示しています。これらの資料は、富本銭こそが和同開珎をさかのぼる我が国最古の鋳造貨幣であることをあきらかにしました。また、共に出土した木簡には、皇族の名称や天武・持統朝の紀年銘にくわえ、宮廷や寺院造営に供給した物資の内容が記され、国家的工房としての遺跡の性質を裏付けています。さらに、ガラスをはじめとする金・銀・銅の生産加工技術には、百済や新羅との技術的な類似性がうかがえることも指摘されています。

そして、これらの点から、この地における生産活動が、中国大陸及び朝鮮半島との緊密な交流のもと、日本列島においてはじめて生まれ、後代にも文化的影響を与えた古代国家の宮都の考古学的遺跡群「飛鳥・藤原の宮都」と密接に結びついたものであることが分かります。

このたびのリニューアルで、国宝「奈良県飛鳥池遺跡出土品」※を従来よりもさらに安全に保存・展示ができるようになり、なおかつ新たな陳列方法により美しくご覧いただけるようになりました。

是非、飛鳥資料館においでいただき、古代技術の精華をご覧ください。

※「奈良県飛鳥池遺跡出土品」は国宝指定されることが決まっていますが、正式には今後の官報告示をもって指定となります。

展示期間：令和8（2026）年7月4日（土）から  
会場：飛鳥資料館 第1展示室内 特別陳列室  
開館時間：9:00～16:30（入館は16:00まで）  
休館日：毎週月曜日（祝日と重なれば翌平日）  
入館料：一般350円、大学生200円、70歳以上・高校生および18歳未満無料  
障がい者とその付添者1名は無料

**展 示 品** : 国宝「奈良県飛鳥池遺跡出土品」  
 富本銭と鑄棹、富本銭鑄型、ガラス製品など（総点数 532 点）  
 内訳 国宝「奈良県飛鳥池遺跡出土品」 451 点（総点数 643 点のうち）  
       飛鳥池遺跡出土品（未指定品） 70 点  
       木簡レプリカ 8 点  
       復元品 2 点  
       土層剥ぎ取り 1 件



記者向け内覧会に関するお問い合わせ 飛鳥資料館学芸室  
 TEL : 0744-54-3561

取材に関するお問い合わせ 総務課広報企画係（担当：白川）  
 TEL : 0742-30-6753 FAX : 0742-30-6750 E-mail : koho\_nabunken@nich.go.jp

※取材のお申し込みは、奈文研 HP より取材申込書を取得・ご記入のうえ、E-mail をお送りください。